

油断

ひところ 才レ才レ さぎが多くある
 その後ま ださす手ははたしくある
 私付大天夫と思ひて 今も大丈夫と思ひ
 ている

人財はよおかある

そしつひおいと云はれりてしりり

私も失敗して

平橋矢五です木 そのひときり

二十一年迄く 先生とよばれたことありん

その言葉菜上 美春の事だせりたなりんりり

のもうひとことに

いんいろうと と思つた

そんなんが ひさりりり

家財物事をいづわく二人はうわやあり

いんいんをい

いんいんをい 大き美理客店が 理科を

あうわいていゝ会社が 社長に

昔社平上 かか少多やういんりりり

一 ~~人~~ 人 かい共たていりりりり

フ きあいは不可欠だ

その現新長付

何故果ての心

活をさくとだあすつもうけあふさうだ

九十方の船にせほとしてもとめさう

ふふふのく 其の昔の思いを今もひきす

うていっふんて

天人のふせは 何を考えるいふのだ

五丁年暮 一丁と と言つたの重に つたわつて

いふか、はるかに やりきれぬ

何を考えていふのだ

と腹をたてる茶に

花の御新 二れこそ灰香の御新だ

2021
12/4